値上げラッシュ‼しっかり対策を‼

物価高騰からくらし・営業を守れ！
今後もしっかり取り組みます

谷口　眞治 議員

物価高騰から町民のくらしと産業・営業をいかに守るか町長に伺う。

①物価高騰の有効策は、消費税5％減税とインボイス中止ではないか。

②国保税の減額と水道料金引上げを中止しないか。

③学校給食費の減免は、子育て支援対策としても有効。次年度も続けるか。

④肥料や飼料、燃料などの高騰が直撃している農業、畜産、漁業の支援は。

⑤くらしを守る予算の財源は国の臨時交付金も財政調整基金もある。財源総動員の対策をやるべきではないか。

町　長　①国の制度の答弁は差し控えます。

②国保運協の答申どおり減額は考えていません。水道料金改定も同様です。

③国の臨時交付金の取り扱いで給食費等の負担軽減が示されたので実施します。町単は難しいです。

④化学肥料や飼料の価格支援の検討をしています。燃油対策は将来に向けた基盤づくりの支援を検討します。

⑤臨時交付金の残額は、今後の施策に活用します。財政調整基金も補正予算の規模に応じて活用します。

野菜の収穫が最盛期

農家へスピード感のある支援を
多様な担い手への支援拡充を検討します

森浦　　繁 議員

農家の担い手と農地の減少など、生産基盤が弱体化する中、米からの転作を支援する水田活用の直接支援交付金の削減中止、肥料価格の高騰、配合飼料高騰、燃油価格高騰、資材高騰など、農家は四苦八苦しています。大規模農家、小規模農家の区別なく、公平な今後の支援について問います

町　長　現行制度の中で継続して支援をしながら農業者が求める支援のニーズの把握に努めスクラップ・アンド・ビルドを基本として、新たな支援策を講じたいと考えています。なお、国において、人・農地制度の見直しが行われる中、認定農業者以外にも、定年帰農者や半農半X、集落営農組織など多様な担い手への支援拡充を検討します。